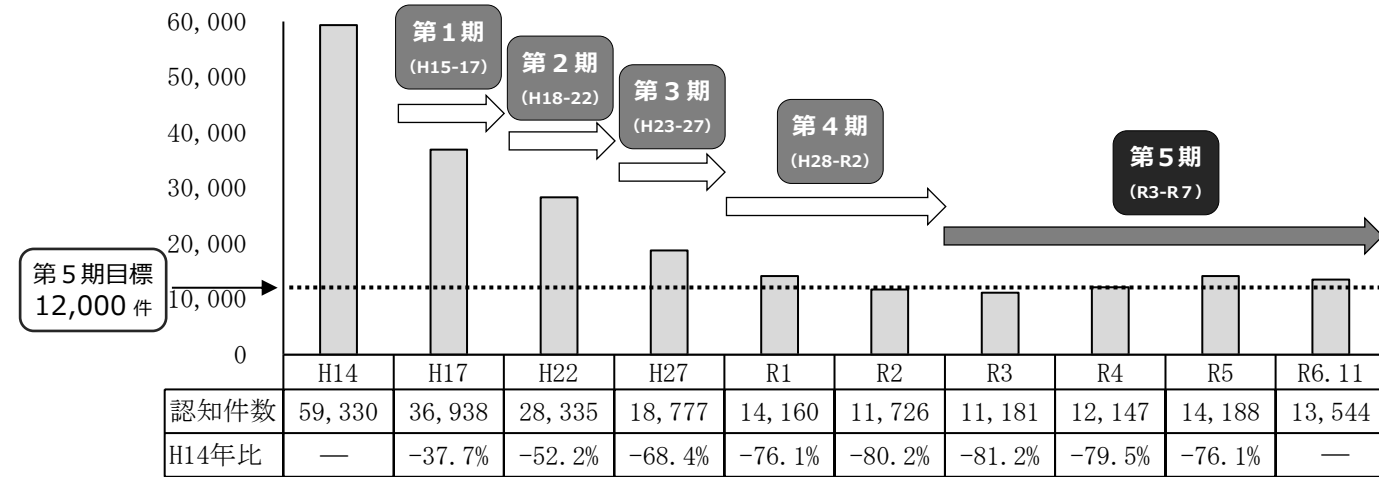


広島県内における犯罪情勢等（令和 6 年 11 月末現在）

「減らそう犯罪」第 5 期
ひろしまアクション・プラン
令和3(2021)年～令和7(2025)年

1 刑法犯認知件数（推進指標：年間 12,000 件以下）

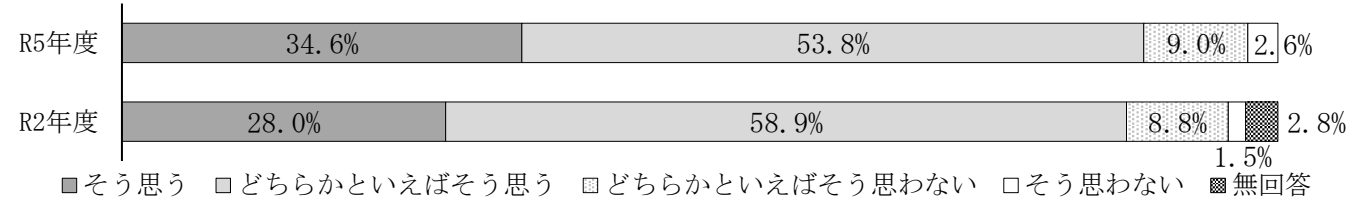


刑法犯認知件数は、平成15年以降、アクション・プランに掲げた指標を達成しながら減少を続けていましたが、令和 4 年は目標(12,000件以下)を超え、20年ぶりに増加に転じました。本年11月末現在、刑法犯認知件数は13,554件で、前年同期比+464件(+3.5%)です。

2 体感治安（推進指標：治安良好と感じる県民の割合 90%以上）

※広島県政世論調査の結果による

Q 現在、お住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。

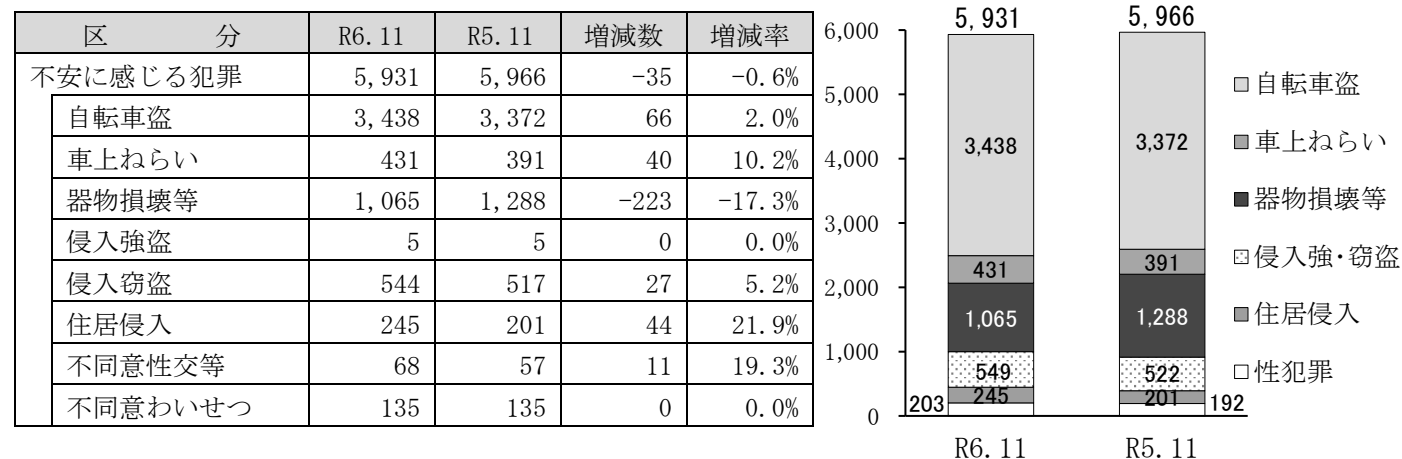


○ 治安良好と回答した割合 ※ () 内は R2 年度調査の数値

R5 年度：88.4% (86.9%) 【そう思う 34.6% (28.0%) + どちらかといえばそう思う 53.8% (58.9%)】

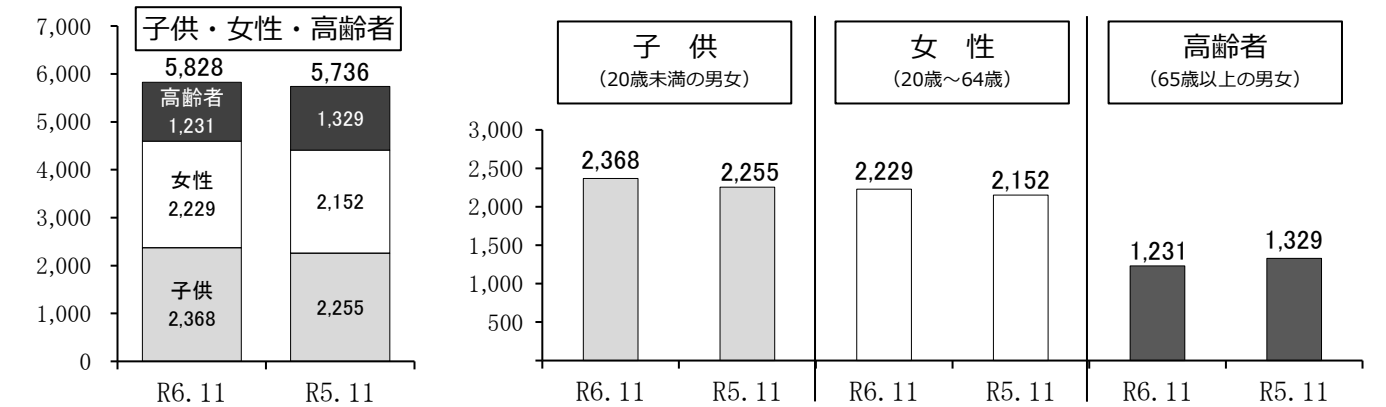
令和 5 年度の県政世論調査(3年ごとに実施)の結果では、居住地域の体感治安について肯定的な回答は88.4%と前回調査から1.5ポイント増加しました。治安良好と思わない理由については、「規範意識の低下、マナー違反が目立つようになったから」が最も多く、その割合は54.3%となっています。

3 不安に感じる犯罪の認知件数（取組指標：年間 5,500 件以下）



本年11月末現在、不安に感じる犯罪の認知件数は5,931件で、前年同期比-35件(-0.6%)です。減少が顕著な罪種は器物損壊等で、前年同期比-223件(-17.3%)です。

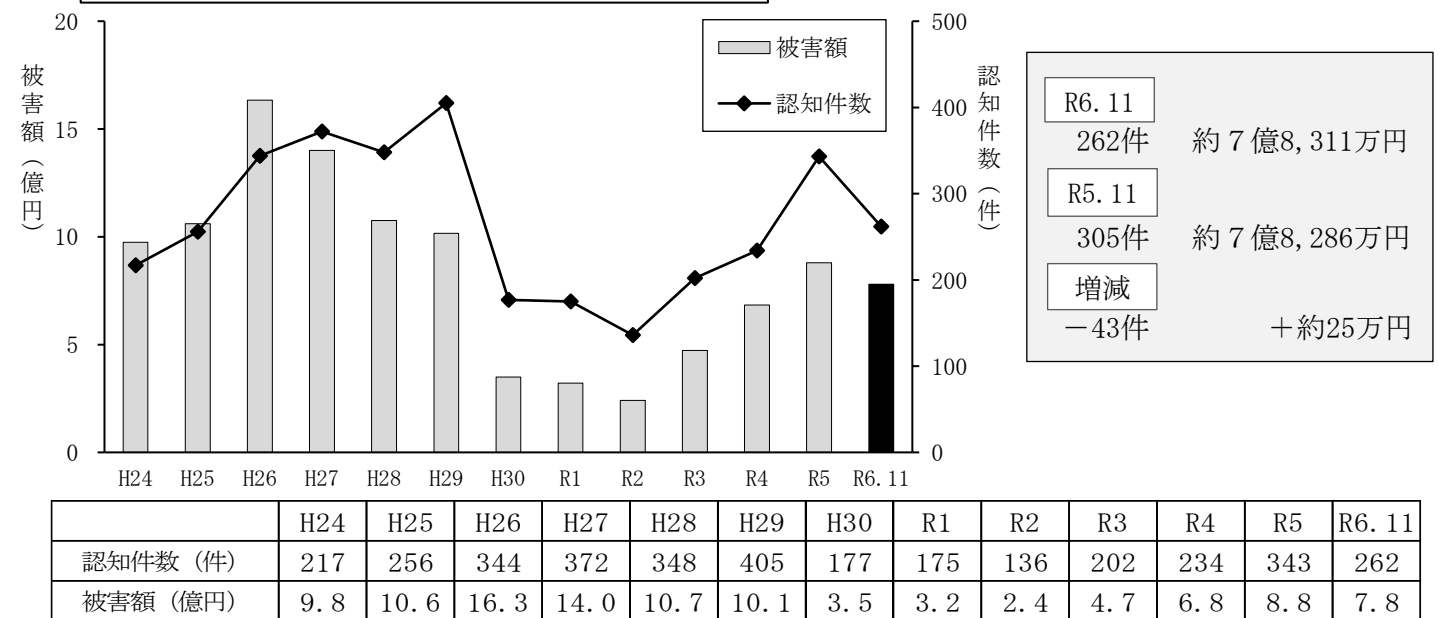
4 子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪の認知件数（取組指標：年間 4,800 件以下）



本年11月末現在、子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪の認知件数は5,828件で、前年同期比+92件(+1.6%)です。子供・女性の被害は増加し、高齢者の被害は減少しており、子供で主に増加した罪種は自転車盗、女性で主に増加した罪種と高齢者で主に減少した罪種は共通して詐欺です。

5 特殊詐欺の年間被害総額等（取組指標：年間 2 億円以下）

特殊詐欺被害状況（平成 24 年～令和 6 年 11 月末）



特殊詐欺の認知件数・被害額は、昨年は認知件数343件、被害額は約 8 億 8,000 万円でした。本年11月末現在、認知件数は262件（前年同期比-43件）、被害額は約7億8,311万円（前年同期比+約25万円）と認知件数は減少し、被害額は増加しています。

6 フィルタリング(スマートフォン)の使用率（取組指標：37%以上）

～子供のスマートフォン利用に係る保護者の管理状況～

区 分	管 理 し て い る		管理していない (「分からない」含む)
		うち、フィルタリングを使用している	
R 6 年度調査結果	76.5%	30.6%	23.5%
R 5 年度調査結果	79.4%	30.8%	20.6%

※広島県青少年のインターネット利用状況調査の結果による（格安スマートフォン、機能限定スマートフォン及び子供向けスマートフォンを除く）

令和 6 年度の調査結果では、子供がスマートフォンでインターネットを利用している保護者(10～17歳の子供と同居する保護者)のうち、フィルタリングを利用している割合は30.6%でした。